

○第136回遺伝子組換え食品等専門調査会（非公開）

日時：平成27年3月20日（水）10：00～11：34

議事概要：

（1）Aspergillus oryzae NZYM-SP 株を利用して生産されたアスパラギナーゼ

・継続審議となった。

\* アクリルアミド生成の起因となるアスパラギンをアスパラギン酸とアンモニアに加水分解する酵素であり、食品加工の際のアクリルアミドの生成を低減する加工助剤として利用されます。

（2）NZYM-RO 株を利用して生産された6- $\alpha$ -グルカノトランスフェラーゼ

・継続審議となった。

\* 酵素として使用される食品添加物です。